



図書館サポーターズだより

明日に吹く風



いよいよ本格的な夏の到来を感じる季節となりました。暑さの厳しい日には、涼しい図書館で読書を楽しんでみませんか。今回も、図書館サポーターズがおススメの本を紹介します。

～図書館サポーター推薦図書～

『世界のおばあちゃん料理』

ガブリエーレ・ガリンベルティ 著 (596 〓 G17)



「外国料理」と聞いたら、私たちが想像するのは、日本でもよく知られた料理ではないでしょうか？世界では、多種多様な食材から様々な料理が作られています。家庭料理も含めると、それぞれの家で味が異なるため、この世界は想像できないほどたくさんの料理であふれています。

この本では、いわゆる「外食料理」ではなく、著者が訪れた様々な地域の「家庭料理」が紹介されていて、世界の 58 人のおばあちゃんが作る自慢の家庭料理をおばあちゃんの生活と共に知ることができます。世界のどこかでおばあちゃんは、家族や親しい人に愛情をこめて料理を作っています。本の中で紹介されているおばあちゃんのレシピを真似するのも、自分の祖父母や親、親しい人からレシピを聞くのもいいですね♪ (Y. N)

『難問の多い料理店』

結城 真一郎 著 (913.6 〓 Y97)



「もし口外したら、命はないと思って」
ビーバーイーツ配達員として働く様々

な人物が向かった先にあるビルの 3 階。彼らはゴーストレストランでシェフと探偵業を兼任しているとどこか不気味なオーナーと出会い、オーナーからの高額な報酬につられ、ビーバーイーツ配達員をしながら事件の調査のお手伝いをするようになっていくミステリー本です。依頼人や事件の関係者への聞き込みや検証だけでは、事件の謎に対して答えがピンとこない配達員に対して、オーナーが試食会と称して事件の謎への解答を教えてください。

物語が事件ごとの短編となっていて、事件に関係してくる題材も大学や SNS など親しみを持ちやすく本が苦手な方でも読みやすい作品となっていて、おススメの一冊です！ (W. K)

『ライオンのおやつ』

小川 糸 著 (913.6 〓 024)



「人生の最後に食べたいおやつは
なんですか」

穏やかな瀬戸内にあるホスピスで、人生の最後を迎える人々が過ごす、優しい時間を描いた物語です。このホスピスでは週に一度、入居者の食べたいおやつがランダムに提供されます。入居者たちにとって、おやつの時間は自分の人生を振り返る大切なひとときです。おやつが心をほだき、大切な思い出や人とのつながりをそっと呼び起こしてくれます。かけがえのない日々や誰かの深い愛情を思い出すことは、自分の人生を肯定できるきっかけになります。悲しみだけではなく、毎日の小さな幸せと、人と人が寄り添うことのあたたかさに気付かせてくれる物語です。最後まで自分らしく生きる登場人物に胸が熱くなります。ぜひ読んでみてください。 (K. C)